

統一地方選挙終わる

県議会議員と市議会議員決まる

ことしの統一地方選挙は、日光で、四月八日に「栃木県議会議員選挙」四月二十二日に「日光市議会議員選挙」が行われました。前日から始められた「選挙公報」の発行や

公営ポスター掲示場の設定なども実施されて、それぞれに新議員が誕生。向う四年間、市民の代表として活躍していただくことになりました。

岸野節男氏が当選

4月8日 県議会議員選挙

〔投票の結果〕

投票日の四月八日は、曇りから雨という、あいにくの天気。にもかかわらず、投票率は前回の県議会議員選挙の八二・六三%を大きく上まわり、八六・〇一%という好成績でした。

▼当日の有権者数

男	八、五四三人
女	九、二七一人
計	一七、八一四人

▼投票者数

男	七、〇三九人
女	八、〇一三人
計	一五、三二二人

▼棄権者数

男	一、二三四人
女	一、二五八人
計	二、四九二人

▼投票率

男	八五・五六%
---	--------

平均	八六・四三%
女	八六・〇一%

〔開票の結果〕

開票は即日開票で、同夜七時三十分から、総合会館大ホールで行われ、九時前には全得票数が確定しました。

▼有効投票 一五、二〇二票
無効投票 一二〇票

▼候補者別得票数(敬称略)
当選 岸野 節男 八、七二二票
次点 松本 春市 六、四八〇票

新市議二十六氏決まる

4月22日 市議会議員選挙

〔投票の結果〕

投票日の二十二日、天候には恵まれ、市内十八カ所の投票所で、一せいに投票が行われましたが、前(五十年)の市議会議員選挙の投票率九三・三三%には及ばず、九〇・七五%にとどまりました。

▼当日の有権者数

男	八、四一九人
女	九、一二五人

▼投票者数

計	一七、五四四人
男	七、五一八人
女	八、四〇三人

▼棄権者数

計	一、六二三人
男	九〇一人
女	七二二人

▼投票率

〔開票の結果〕

開票は即日開票で、同夜七時三十分から総合会館大ホールで行われ、十一時五十分全得票数が確定しました。

▼有効投票 一五、八〇一票
無効投票 一二〇票

▼候補者別得票数(敬称略)
各候補者別の得票数は、次のとおりですが、候補者名が確認できない有効投票中、同じ姓だけ記載のもの八票、同じ名だけ記載のもの四票の計十二票あり、この十二票は、それぞれ該当の候補者の得票数の比率で按分(小数点四位以下を切り捨て)されるため、関係の候補者には、小数点以下の端数がつきまます。

(順位)(氏名)

①	岩本 史郎	(得票数) 九〇四
②	手塚 正男	八八四
③	榎本 光雄	八二六
④	福田 昇	八一八・五九
⑤	金子 和男	七六四
⑥	福田土巳夫	六八一・八六
⑦	川津 俊光	六六九
⑧	栗原 幸夫	六五〇
⑨	桧山 重雄	六四九
⑩	斎藤 金吉	六二八
⑪	渡辺 裕一	六二七
⑫	野沢 富夫	六二五・六七
⑬	登坂 理平	五七九
⑭	石川 道義	五五三

表紙のごとくは



白糸の滝と 運だめしの鳥居

「大小べんきんせいの碑」から、静かな石だたみの参道を進むと、やがて天狗沢の小橋に出る。左手上流すぐの所に見えるのが「白糸の滝」。滝としては、ごく小さなものだが、五万分の一地図に出ているほか、ごく古い書物にも、その名を見出すことができる由緒ある滝である。

文明十八年(一四八六)九月、京都聖護院の門主、道興准后が滝尾神社に参詣して、その時のことを書いた「回国雑記」の中に、

「世々をへて結ぶちぎりの末なれや、この滝の尾のたきの白糸……」と白糸の名が出てくる。また、それより古く、天長二年(八二五)勝道上人の弟子道珍が書いた「日光山滝尾建立草創日記」には「離怖畏岩(開山堂のあたり)から北に十八九町のところ滝があり、布をさらした如く、乱れた糸に似ている……(原文は漢文)という意味のこと